



橋下・松井府政における**教育環境の悪化**を鋭く指摘!

はら だ

原田りょう議員 が府議会で一般質問

新人でありながら、早速一般質問で登壇し、知事と教育長に対し厳しく追求しました。



■プロフィール 昭和61年8月23日生まれ(29歳)大阪大学法学部(政治専攻)卒業、自民党政治塾なにわ塾卒業、被災地支援団体ACTION前代表、衆議院議員事務所勤務、平成24年全国最年少25歳で箕面市議会議員当選。平成27年大阪府議会議員当選、現在府議会最年少。環境農林水産委員会委員、都市計画審議会委員。

能勢高校を必ず存続させる!

高校再編整備計画について

Q. 原田議員 平成30年度までに府立・市立高校あわせて7校を募集停止とする再編整備計画において、能勢高校のような地理的な課題のある高校を対象とすることは、子どもたちの就学機会が損なわれるので、計画の俎上に載せるべきではない。

A. 教育長 今後、再編整備の手法の検討にあたっては、議員お示しのとおり、特に能勢町の地理的特性から、私立を含めて他の高校に進学することは時間的、経済的な負担から極めて厳しい状況であるので、就学機会を確保する観点や、高校がこれまで地域の活性化を担う人材を育成してきた点を十分に踏まえてまいらねばならない。

Q. 原田議員 能勢高校を町立へと移管する際、能勢町の厳しい財政状況を鑑みると、高校を運営する費用は到底負担できない。府が財政的、人的にも責任を持って支援していくべきである。

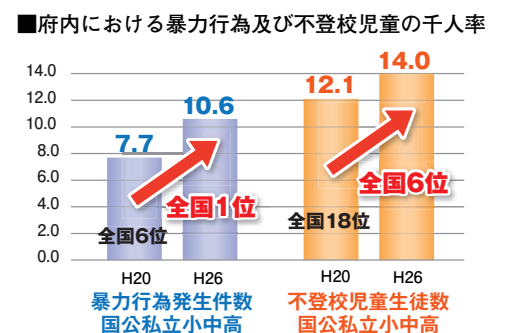
A. 教育長 町の財政負担の問題や、設置者として円滑に学校運営ができるかという人的問題は、大きな課題であると考えている。今後、再編整備の手法を検討する中で、十分に協議してまいらねばならない。

悩んでいる子どもたちに救いの手を差し伸べる!

不登校と暴力行為発生件数の増加について

Q. 原田議員 橋下、松井府政になってからこの間、不登校や暴力行為の発生件数は増加し続けている。特に府内の学校での千人当たりの暴力行為発生件数は、3年連続全国ワースト1位。暴力行為について、小学校では著しく増加傾向にあり、平成26年度の千人当たりの発生件数は4.3件で全国平均の約2.5倍である。こういった由々しき事態にも関わらず、この間全く対策がなされていない。それらに対し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの役割は大きく、専門家の有効活用や校内体制の充実に向けた人的支援の拡充を求める。

A. 松井知事 小学校への対応も喫緊の課題ととらえ、府教育委員会として、その状況を分析した上で、専門家や支援人材による人的支援も含め具体的な対応策について、検討してまいりたい。



森林環境税とは

緊急かつ集中的に実施する必要がある森林保全の財源を安定的に確保するために、府民一人あたり年間300円を来年度から課税するもの。箕面、豊能、能勢へ税が使われるように求め、国道423号線・国道173号線沿い、豊能町吉川、能勢町宿野、山辺地域に使われることになりました。

環境農林水産委員会においても登壇

森林環境税 の導入、 農業振興 を力強く推進!!

大阪の恵まれた緑は今まで山間部の方々が守ってきました。しかし、高齢化や過疎化の進展で自助努力に頼るだけでは維持できなくなっています。次世代へ緑を引き継いでいくために、大阪府民全体で負担を分かち合い、林業と農業の振興を求める!

農業振興策の拡充を!

Q. 原田議員 新新規就農者への支援だけではなく、既存農家の収益を向上させる視点も農業振興策に取り入れるべき。

A. 農政室推進課長 生産者の技術及び経営指導や直売所などの施設整備に対する支援等を通じ、農家所得の向上に努めてまいります。